



# 学校だより 穂 立

平成28年9月1日  
新発田市立豊浦中学校  
第5号

## オリンピックに学ぶ 始業式の校長の話から（抜粋）

（前半 略）

さて、今年はオリンピックがあったこともあり、新聞やテレビが連日オリンピック報道で染まっていました。そして毎年行われる甲子園や高校総体、中学校全国大会とスポーツ一色の夏休みだったような感じを受けます。

私も普段より時間に余裕があったので、夕方から夜にかけてオリンピックを見る機会が多くあり、普段じっくりと見る機会のないスポーツを見ることができました。

私が興味があるのは、金銀銅という結果はもちろんですが、それよりも、様々な種目に出場した人たちにまつわるドラマです。

オリンピックという晴れ舞台に立った選手の舞台裏には様々なドラマが存在します。オリンピックを目指したものの、出場できなかった選手たちのドラマもあります。

私の身近にオリンピック選手がいないので、そのようなドラマはテレビや雑誌から一部を知ることしかできません。しかし、舞台裏のドラマには私たちが参考にすべきことがたくさん散らばっています。

目標をもつことの大切さ、辛いことに耐え頑張る姿勢、仲間の大切さ、日頃の生活の重要さ、コーチという存在の大きさ、ものすごいプレッシャーとの戦い等々。

これから様々なメディアで裏のドラマが紹介されるでしょうから、ぜひ皆さんもそれらを、見たり読んだりして自分を高める参考にできるものがあれば参考にしてほしいと思います。

2学期は様々な行事や体験学習があります。2つの自分（一人の人間としての自分と集団の一員としての自分）を伸ばす良い機会が盛りだくさんです。

みなさん一人一人が様々な場面で活躍してくれることを期待しています。



## 間違いを価値あるものに

「わたしの主張 三市北蒲地区大会」に出場した齋藤さんの主張内容です。

大変参考になる内容ですので、紹介させていただきます。

「何度も何度も同じ間違いをするよね。」「前も言ったでしょう。」「僕は友達や先生、家族によくそう言われます。人間は完璧ではないので、何かしら1回は間違えることはあります。そして、その間違いをほったらかしにしておいては、再び同じ間違いを繰り返します。では、どうすれば同じ間違いをしないで済むのでしょうか。

僕は趣味で将棋をしています。小学3年の時に始めて、昨年には全国大会にも出場しました。しかし、今年は県予選で敗退し、全国大会に出場することはできませんでした。

来年の高校生の大会に向けて、更なる高みを目指すには、ミスを減らすことが重要です。勝負の世界には、どんな人にも負けはあります。将棋では対局後、「感想戦」を行います。これは、「敗着」という負けの原因になった手を検討するものです。僕はその感想戦のおかげで次の対局で收拾がつかなくなる前に対応できたということがよくあります。もし、前の負けた対局の後、感想戦を行っていなかったら、似た状況になったとき、戸惑い、焦ってまた同じミスをしかねません。この差はわずかな差に見えて、実はとても大きい差です。

この終わった後の反省は、他の事にもあてはまるのではないのでしょうか。例えばスポーツでは、悪かったことを「課題」と



始業式に全校の前で発表する齋藤さん



して練習メニューに入れて改善します。学習では、間違えた問題にただ×をつけるだけではなく、模範解答を書いて深く考える方が良いに決まっています。実生活でも、僕は反省して改善しながら成長していると思います。例えば、「行ってきます」や「ただいま」の挨拶がきちんとできなかった時もありましたが、今は意識して声を出しています。ミスはその瞬間には悪いことと捉えてしまいますが、将来的に見れば、自分を変えるチャンス！つまり、小さくても栄養分の多い種のようなものなのです。

将棋には「永世名人」という資格があります。

これは、名人位というとても有名な将棋界のタイトルを通算5期以上とった棋士だけに与えられるものです。それを持っている森内俊之さんが、自分なりの勝負哲学を執筆した、「覆す力」という



本があります。僕はこの本の中の、「ミスを一度で止めることを意識すればいいのだ」という言葉が印象に残っています。森内さんは、「二回目のミスが致命傷になる」と述べています。致命傷を負わないためには、同じようなミスを犯しそうなとき、そのミスを覆せばいいわけです。そのためには、1回目のミスは許してもいいのです。また、その余裕こそが「覆す力」の源となのだと思います。

では、どうすれば「覆す力」を鍛えることができるのでしょうか。そのためには、「1回目は許すけれど、2回目は許してやらないぞ」という自分に対する厳しさをつくることです。また、「自分ならできる」という自信をもって生活することが大事だと思います。更に勝負事では「焦らないこと」です。変に取り繕うと、余計に混乱してしまいます。焦りは動揺を呼びます。

ミスを完全に無くすことはできなくても、ミスを少なくすることはできます。僕は将棋やテストでじっくり反省しておいて、本当に良かったと思う時が何度もあります。それは、間違いを次につなげることができたからです。

決してパーフェクトではない生き物「人間」。人間はミスや間違いを積み重ねて、それを一つ一つ改善して成長していくのです。ミスや失敗を放棄している人は、とてももったいないのではないのでしょうか。自分に自信をもって「覆す力」をつけ、自分で深く反省し、成功につなげることのできる間違いこそ、本当に価値のある間違いだと僕は考えます。

僕は今後将来に向けて、いっぱい負けて、いっぱい間違えます。

全ては多くの成功のために。

## いよいよ体育祭

待ちに待った体育祭が今週末と迫りました。夏休みも応援団幹部を中心に準備を進めてきました。2学期に入り、団全員で応援の練習に取り組んでいます。雨の心配もなさそうなので、生徒の活躍する姿を是非ご覧ください。

### 体育祭スローガン

Over the top ～栄光の空に向かえ～

### 各団の学級と幹部生徒

【赤団】 3の2 2の2 1の2

応援団団長	阿部
副団長	姉崎
パネル係長	酒井
小道具係長	齋藤

【青団】 3の1 2の1 1の1

応援団団長	黒井
副団長	齋藤
パネル係長	鈴木
小道具係長	磯邊

## 新しい出入り口ができました

夏休み中に、豊浦庁舎側と豊浦分校側に新しい出入り口ができました。これまで、自転車の出入口が校門1か所で、特に下校時に自転車や車が校門付近に集中し、危険だなあと感じていたので、一安心しています。

それに伴い、登下校時の生徒の動きを変更しました。自転車で通う生徒は、下の図の矢印のように、登校時は2方向、下校時は3方向から校地内に入りますこととなります。

これまでよりは安全になるとは思いますが、図の○で囲った3か所や校門前の横断歩道は十分気を付ける必要がありますので、引き続き安全指導を行っていきます。

また、校門を入った所は自転車が横切る事が増えますので、車でお越しの際は、十分気を付けていただきたいと思います。

